特集 新たな価値創造に向けた統合へのプロセス

群馬銀行と第四北越フィナンシャルグループは、相互信頼・対等統合を基本的な方針として、2027年4月（予定）に経営統合を行います。お客さまと地域の成長・発展に貢献し続けるとともに、持続的な成長と企業価値の向上を実現させ、ステークホルダーの皆さまの期待に応える地域金融グループを目指してまいります。

統合持株会社の概要

商号	株式会社 群馬新潟フィナンシャルグループ 英文 Gunma Niigata Financial Group, Inc. 略称 GNFG
代表者（予定）	代表取締役会長　殖栗 道郎 （現 第四北越フィナンシャルグループ 代表取締役社長） 代表取締役社長（グループCEO）　深井 彰彦 （現 群馬銀行 代表取締役頭取）
本店所在地	東京都千代田区丸の内1丁目8番2号（鉄鋼ビルディング）

コーポレートマーク

GNFG

群馬の大地をかたどるツルと、新潟の空に舞うトキが、
大空で出会い、新たな旅路へと向かう姿をロゴデザインに。
県の垣根をこえ、地域と未来をつなぎ、
金融の枠を超えた価値を提供していく姿勢を表現しました。

新金融グループの理念

MISSION 存在意義

ふたつの翼で、地域の未来を創る

VISION ありたい姿

信頼を礎に、金融の枠を超え、価値をつなぐ、リージョナルソリューショングループへ

VALUES わたしたちの価値観

1 四方共益
お客さま・地域、会社、仲間、株主、すべての豊かさの向上を目指して行動します

2 誠実
プロフェッショナルとして誠実に取り組み、揺るぎなき信頼を積み重ねていきます

3 挑戦
失敗を恐れずに挑戦し続け、地域の未来へ新たな風を起こします

4 共創
地域を超えてヒト・モノ・コトをつなぎ、ソリューションの力で新たな価値を生み出します

※両社の従業員から集まった3,400件を超えるアンケート（新金融グループが「目指すべきこと」や「大切にすべき価値観」）の結果をもとに両社で議論を尽くし、決定に至りました。

これまでと今後のロードマップ

2021

12月 群馬・第四北越アライアンス締結



GUNMA DAISHI HOKUETSU ALLIANCE
群馬・第四北越 アライアンス

2025

4月 経営統合 基本合意



「基本合意」から「最終合意」までの取り組み

最終合意および統合シナジーの発揮に向け両社の各階層にて協議を行ってきました。

・統合準備委員会
両社トップを中心に、
重要事項の協議を実施。



・専門部会
10の部会（経営企画、営業、システム事務、リスク管理等）に分かれ、Fit&Gapや、業務統一化に向けた検討を実施。

2025年10月から2026年3月までの期間を「プレアクション180」と定め、両社役職員の「意識統合」や、業務の高度化に向けた「業務統合」の検討に取り組んできました。

・意識統合
合同研修や共同イベントを実施。



群馬グリーンウイングスの観戦イベント

・業務統合
リスク管理、収益管理、監査等の業務共通化の検討着手や、生成AI分野の共同研究を開始。

2026

3月 最終合意、群馬新潟FGに名称決定



3月26日 両社取締役会決議
株式交換契約書および経営統合契約書の締結
9月30日（予定） 両社の臨時株主総会に係る基準日
12月23日（予定） 両社臨時株主総会開催

2027

4月 経営統合

3月29日（予定） 群馬銀行の株式の最終売買日
3月30日（予定） 群馬銀行の上場廃止日
4月 1日（予定） 株式交換の効力発生日
第1次中期経営計画スタート

群馬新潟 フィナンシャルグループ
（第四北越フィナンシャルグループの商号を変更）

群馬銀行　第四北越銀行

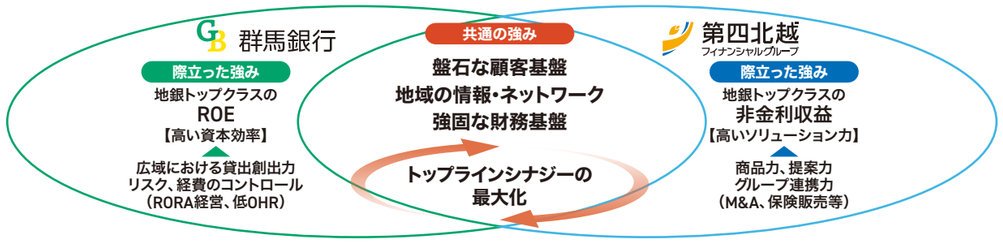
最終合意後は、統合シナジーの早期発揮に向け、既に実施済みの「プレアクション180」に続き、「RUN UP 180」「FLY UP 180」を設定し、業務統合の詳細検討および実務検証を加速していきます。

“プレ” PMI（ポスト・マージャー・インテグレーション）の実施

	期間	内容
プレアクション180	2025年10月～2026年3月（実施済み）	相互理解の深化
RUN UP 180	2026年4月～2026年9月	統合に向けた詳細検討・実務検証
FLY UP 180	2026年10月～2027年3月	統合後の組織・業務の具体化

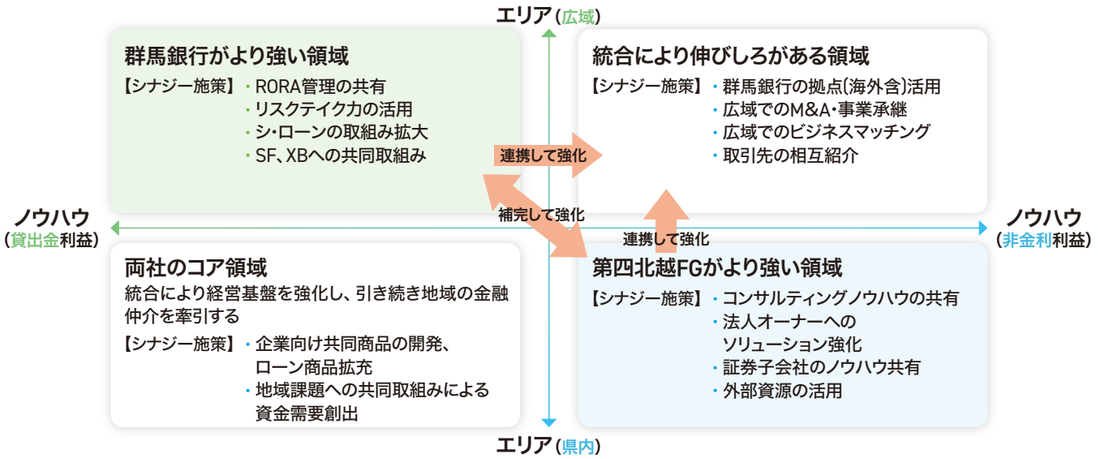
経営統合の目的

両社共通の強みをベースに、それぞれの際立った強みを補完することで、トップラインシナジーの発揮、および経営管理の高度化を図り**経営の規模・質ともに地方銀行トップクラスの金融グループへステップアップを目指します。**



シナジー(I) 規模×ノウハウ

経営統合による**規模拡大**（営業エリア、総資産、リスクテイク力、人的資本等）と、お互いの強み（**ノウハウ**）を融合し、資金利益・非金利業務利益の拡大（**トップラインシナジー**の発揮）を図ってまいります。



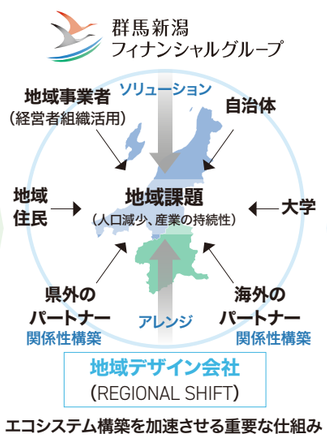
シナジー(II) 地域×挑戦

地域エコシステムの構築へ・・・新金融グループがハブとなり、外部パートナーと連携して地域の好循環を築きます。

1 地域産業の持続性を高めるエコシステム
- 事業承継、人材紹介、業界再編
- 地域ファンドの組成・活用
- オープンイノベーション

2 地域の生産性を高めるエコシステム
- BPOビジネスの展開
- デジタル化支援　・AI活用
- 地域金融機関の事務共同化

3 地域の生活を豊かにするエコシステム
- キャッシュレス推進
- 決済データ活用、地域情報循環
- 地域商品発信（地域商社機能）



エコシステム構築を加速させる重要な仕組み

4 地域のインフラを持続的にするエコシステム
- 自治体との広域・分野横断的連携
- 再生可能エネルギー促進
- 地域医療体制の再構築
- 観光インフラ（交通、人材、再生等）の整備

5 世界の力を地域に活用するエコシステム
- 海外人材・ノウハウの活用
→地域案件のアレンジ
- 海外への投融資、海外からの投資
- 海外進出支援、商流の開拓
- 海外企業へのアプローチ・誘致

目指す姿 **上流から外部パートナーと連携して地域課題にアプローチ。**
地域の持続性を高めるとともに、ニーズ・収益機会を創出。

地方銀行トップクラスの新金融グループへ

総資産（連結）	拠点数（銀行）	群馬県内
21兆6,962億円	国内拠点 237 海外拠点 5	群馬銀行 預金等シェア 38% 貸出金シェア 34% （県内1位）

時価総額	グループ会社（事業領域）	新潟県内
1兆2,711億円	11事業	第四北越銀行 預金等シェア 43% 貸出金シェア 50% （県内1位）

※ 2026年3月末時点（総資産・時価総額・拠点数・グループ会社は単純合算、シェアは各県における各行単独）
※ 県内シェア：（出所）金融ジャーナル「金融マップ2026年版（2025年3月末基準）」

新金融グループの計数計画

